

# JAMSTEC の 国際連携

JAMSTEC 2023

地球温暖化や海洋酸性化、海洋生態系の喪失など、海洋や地球を取り巻く世界規模の様々な課題は一国だけで対応できるものではありません。海洋や地球を対象とする研究開発も、その広大で複雑な対象を一機関だけで進めることはできず、国際的な協力・連携のもと、研究開発を進めていくことが前提となります。

JAMSTEC は日本の海洋科学技術の中核を担う国立研究開発法人として、国内外の研究機関や大学、産業界と連携して研究及び技術開発を行い、地球規模課題の解決に貢献しています。研究成果から得られた海洋・地球・生命に関する科学的知見や地球環境情報を社会へ発信し、持続可能な未来の構築へとつなげていきます。

## 海外研究機関との協力

22の海外研究機関と研究協力・連携や人材交流等に関する覚書を締結し、グローバルな連携・協力を推進 (2023年4月現在) ※締結機関のある国は下記地図の通り

## 多国間国際協力への貢献



### ユネスコ政府間海洋委員会 (IOC)

- ・アルゴ計画や全球海洋各層観測調査プロジェクト (GO-SHIP) 等の関連プロジェクトへの参加や検討課題の動向に関する情報収集・分析を実施
- ・国際的な諸課題への対策を検討する国内委員会・専門部会の運営等を通じて、我が国のIOCへの取組みを支援
- ・JAMSTEC研究者がIOC西太平洋小委員会 (WESTPAC) 議長として地域の海洋科学技術や国際連携推進をリード
- ・IOC事務局 (パリ) への職員派遣によるIOC運営支援

### 気候変動に関する政府間パネル (IPCC)

第6次評価報告書 (AR6) に貢献

### 地球観測に関する政府間会合 (GEO)

海洋、気候、生物多様性、地震等の現場観測と観測データ・科学的情報の公開を通じて GEO が推進する全球地球観測システム GEOSS の構築に貢献

### 海洋の未来に関するイニシアチブ (G7 FSOI)

G7 科学技術大臣会合下の「海洋の未来イニシアチブ」WG に参加し、今後重点的に取り組むべき北極研究、海洋のデジタルツインの構築、全球海洋観測の維持・強化等の課題に関する議論をリード

### 国連海洋科学の10年 (Ocean Decade)

国際連合が推進する「国連海洋科学の10年」に積極的に参画し、海洋科学の発展と持続可能な海洋管理に貢献



第32回IOC総会 (パリ 2023年6月)



第14回WESTPAC政府間会合 (ジャカルタ 2023年4月)



米国海洋大気庁 (NOAA) 長官 (2023年5月) 仏高等教育・研究大臣一行 (2023年5月)



G7 FSOI WG 会合 (ベルリン 2022年11月)

## その他国際プロジェクトの推進

### 国際深海科学掘削計画 (IODP)

地球深部探査船「ちきゅう」を運用し、国際的な海洋掘削科学の発展を主導



地球規模課題解決に貢献するため、国際協力を通じて持続可能な海洋環境と地球の未来を支える、世界に開かれた研究機関を目指します。

- \*1: ユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC: Intergovernmental Oceanographic Commission) 加盟国の協力によって海洋自然現象及び資源に関する知識を増強するために科学的調査を推進することを目的として、1960年に設立。
- \*2: 気候変動に関する政府間パネル (IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change) 人為起源による気候変化、影響、適応および緩和方策に関して、科学的、技術的、社会経済的な見地から包括的な評価を行うことを目的として、1988年に世界気象機関 (WMO) と国連環境計画 (UNEP) により設立された組織。
- \*3: 全球地球観測システム (GEOSS: Global Earth Observation System of Systems) 100か国以上が参加する「地球観測に関する政府間会合 (GEO)」が推進する、全世界の地球観測及び観測データを気候変動対策等の地球規模課題への政策決定に活かすことを目指す国際枠組み。
- \*4: 海洋の未来に関するイニシアチブ (G7 FSOI) 持続的な海洋・海洋観測システムの開発、観測データ共有基盤の促進、海洋評価システムの強化など、G7において策定された海洋問題の解決に向けた取り組み。
- \*5: アルゴ計画 (Argo) 地球全体の海洋変動をリアルタイムで捉えることを目指し、2000年にスタートした国際プロジェクト
- \*6: 国際深海科学掘削計画 (IODP: International Ocean Discovery Program) 日米欧主導により2013年10月から開始した多国間国際協力プロジェクト。日本の地球深部探査船「ちきゅう」(約57,000t、JAMSTECが所有・運用)と米国が提供するジョイデスレゾリューション号、欧州が提供する特定任意掘削船 (MSP) の複数の掘削船によって深海底を掘削することにより、地球環境変動、地球内部構造及び地殻内生物圏の解明を目的とした研究を実施。

## 音声ガイド

右の二次元コードより音声ガイドを聞くことができます。



海洋科学技術戦略部  
国際協力課